

シーニックバイウェイルート提案の応募結果

1. 概要

シーニックバイウェイ北海道推進協議会では、これまでにシーニックバイウェイルートとして8ルートを指定、候補ルートとして4ルートを登録しています。

新たに「トカプチ雄大空間」について提案がありました。

(平成22年3月5日締め切り分)

2. 提案のあったルート

(1)シーニックバイウェイルート

ルート名	トカプチ雄大空間
申請月日	平成22年2月26日
関係市町村	帯広市、音更町、芽室町、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町 (7市町村)
提案者	「トカプチ雄大空間」運営代表者会議
代表者	野村 文吾(帯広商工会議所)
構成団体	30団体

平成 22 年 3 月 10 日

ルート審査委員会

ルート審査委員会の審査結果

(1) シーニックバイウエイルート

①+勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間

視 点 委 員	1					2	3	4		ルート指定の推薦の可否
	景観	自然	文化	歴史	レク					
A	○	○	-	-	○	○	○	○	可	これまでの活動・意欲、そして行動組織を持続的な状態とし、継続への努力を怠らないようにしていただきたい。
B	○	-	○	-	○	○	○	○	可	特になし
C	○	○	-	-	○	○	○	○	可	・他のルートと有機的なコラボレーション ・情報発信機能のブラッシュアップ ・観客誘致のプロモーション事業の高度化
D	○	○	-	-	○	○	○	○	可	「食と癒しのトカプチ」は、テーマとしては注目に値するが、表現の方法が難しい。何をもって「癒し」を表現、アピールできるか検討を重ねて欲しい。「癒し」の部会活動に期待する。
E	○	○	○	○	-	○	○	○	可	特になし
F	○	○	○	-	-	○	○	○	可	景観、資源、文化という各要素のポテンシャルは他の地域に比べ、優位性があり、発地に対するプロモーション活動など、活動の積極性が強く感じられる。商業活動等地域の活性化に直結する展開を中心にすえたルート活動として、大いに期待する。

※視点

- 1：優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性
- 2：活動団体によるルート運営活動計画の主導的な推進
- 3：地域住民等と行政が一体となった地域の魅力向上の取り組み
- 4：景観の質の向上、ルートのブランド化、地域の活性化

平成22年5月17日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

シーニックバイウェイルート指定等について

- シーニックバイウェイ北海道実施要綱第18条第一項及び第二項の規定に基づき、次のとおりシーニックバイウェイルート指定を行う。

ル ー ト 名：トカプチ雄大空間

関係市町村：帯広市、音更町、芽室町、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町（7市町村）

提 案 者：「トカプチ雄大空間」運営代表者会議

なお、上記指定・登録を行うにあたって、別紙の通り意見を付記する。

シーニックバイウェイ北海道推進協議会 意見

■シーニックバイウェイルート

「十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間」に対する意見

● 景観資源・地域資源の優位性

母なる川・十勝川「トカプチ」（アイヌ語で“乳房”の意。二つに分かれた河口を、無尽の乳汁を出すことになぞらえる）の下に広がる当該活動エリアは、その雄大な自然と農業などの人々の営みが調和した景観を有し、国内はもとより、アジアや欧米の視点からも優位性をもつ景観資源として、内外の観光客を惹きつける魅力がある。また、先住民族の歴史文化や開拓者精神を背景に、豊かな農業を基盤としてルート内に展開する食、文化、歴史、レクリエーションは、市街地と郊外地の周遊を促し、地域の活性化を支える重要な地域資源となっている。

さらに今後は、自然や環境と共生する十勝で生まれ、ホスピタリティに溢れた「人」とそのライフスタイルこそ大切な地域資源であるとの認識のもと、移住や二地域居住等も含む「様々な交流」を促す取組みに繋げていくことが期待される。また、「寒く、明るい冬」は大いなる観光資源であることから、冬期のアクティビティに積極的に活用することが望まれる。

一方、市街地や農村集落の景観は自然景観に比べ見劣りしていることから、市街地等の景観改善に向けて、行政や企業等と幅広く連携した取組みを行うことが望まれる。

● 地域の魅力向上、ルートのブランド化

実業を中心としたルート活動は、シーニックバイウェイ北海道が目指す地域産業の振興に資する新たな展開として評価できる。また、イエローリボンプロジェクト等の市民参加の活動や十勝シーニックバイウェイとしての隣接ルートと連携した取組も行われており、ルート活動としての着実な深化が見られる。

今後は、「食と癒し」のテーマをどのように表現していくかを追求しながら、隣接ルートとの緊密な連携と当ルート独自のブランド力の向上を進めていくこと、女性及び若い世代など幅広い市民を積極的に巻き込むことや産学官民の取組を試行することが期待される。また、携帯電話サイトを含むウェブページの作成や首都圏でのPR活動等、様々な取り組みがみられる情報発信・プロモーションについては、隣接ルートとも連携し、さらにダイナミックで先駆的な取組みを目指すこと等、ルート活動の可能性と持続性を高めていくことが期待される。